



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年4月24日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <http://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 直人 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 平成26年5月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	16,575	11.0	3,514	37.6	3,518	14.5	2,336	34.3
25年12月期第1四半期	14,938	4.5	2,553	13.8	3,072	25.5	1,739	10.6

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 1,494百万円 (△59.6%) 25年12月期第1四半期 3,701百万円 (43.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	80.63	—
25年12月期第1四半期	59.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	81,825	61,924	74.4	2,100.30
25年12月期	81,946	60,863	73.0	2,065.24

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 60,868百万円 25年12月期 59,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	13.00	—	15.00	28.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	14.50	—	14.50	29.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,500	5.0	4,400	2.0	4,600	△12.5	2,900	△9.1	100.07
通期	59,000	5.5	8,600	2.3	9,000	△10.2	5,800	△11.8	200.13

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	32,143,146株	25年12月期	32,143,146株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	3,162,442株	25年12月期	3,162,325株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	28,980,762株	25年12月期1Q	29,002,623株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとする政府主導による政策効果を背景に企業の景況感が改善し、個人消費においても消費増税前の駆け込み需要が後押しとなった持ち直しの動きがみられるなど、景気回復への期待は一段と高まってまいりましたが、円安による輸入原材料費の上昇や消費増税による消費低迷が与える影響も懸念され、本格的なデフレ脱却に向けては依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属しております筆記具業界におきましても、お客様の嗜好が多様化し、品質に対する選別の目が厳しさを増すなかで、消費増税後の需要の反動減や消費低迷が加わって、これまで以上の価格競争が生じる可能性もあり、依然として厳しい状況が続くものと思われまます。

このような経営環境の中、当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是の原点に立ち返り、高付加価値で高品質な商品開発を行ってまいりました。滑らかな書き味はそのままに、操作性と高級感を両立させながら「筆記具を所有する喜び」を新たにご提案させていただいた油性ボールペン「ジェットストリームプライム」をはじめとする「ジェットストリーム」シリーズやシャープペンシルの「クルトガ」などを中心に、成熟したとされております筆記具市場にありながら幅広いお客様のご支持をいただくと同時に更なる品質改良や多機能化、パリエーションの展開を図り、新たな顧客層を開拓しながら市場シェアを拡大して収益を重ねることが出来ました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は165億75百万円（前年同期比11.0%増）となりました。また営業利益は35億14百万円（前年同期比37.6%増）、経常利益は35億18百万円（前年同期比14.5%増）、四半期純利益は23億36百万円（前年同期比34.3%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、主力商品の販売が堅調に推移した事に加えて円高是正の影響も受け、この結果、外部顧客に対する売上高は158億74百万円（前年同期比11.4%増）となりました。また、その他の事業は、景気回復の期待感はあるものの事業を取り巻く環境は引続き厳しく粘着テープは厳しい状況で推移しましたが、手工芸品は消費増税前の駆け込み需要がありました。この結果、外部顧客への売上高は7億円（前年同期比2.2%増）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて1億21百万円減少し818億25百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が25億12百万円増加した一方で投資有価証券が9億99百万円、たな卸資産が6億49百万円、現金及び預金が6億26百万円、その他（流動資産）が3億53百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて11億83百万円減少し199億円となりました。これは主に未払法人税等が8億67百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて10億61百万円増加し619億24百万円となりました。これは主に利益剰余金が19億3百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が6億39百万円、為替換算調整勘定が2億78百万円、それぞれ減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,843	27,216
受取手形及び売掛金	15,153	17,666
たな卸資産	12,931	12,281
その他	2,305	1,951
貸倒引当金	△138	△153
流動資産合計	58,095	58,963
固定資産		
有形固定資産	11,622	11,636
無形固定資産	148	148
投資その他の資産		
投資有価証券	10,346	9,346
その他	1,733	1,729
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,080	11,076
固定資産合計	23,851	22,861
資産合計	81,946	81,825

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,812	7,987
短期借入金	1,171	1,216
未払法人税等	2,059	1,191
賞与引当金	439	1,063
返品引当金	75	74
その他	4,557	3,735
流動負債合計	16,114	15,269
固定負債		
長期借入金	2	1
退職給付引当金	2,400	2,465
役員退職慰労引当金	821	781
環境対策引当金	28	28
負ののれん	16	-
その他	1,699	1,353
固定負債合計	4,969	4,631
負債合計	21,083	19,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,583	3,583
利益剰余金	50,241	52,145
自己株式	△3,329	△3,329
株主資本合計	54,993	56,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,756	3,116
繰延ヘッジ損益	△32	△1
為替換算調整勘定	1,135	856
その他の包括利益累計額合計	4,859	3,971
少数株主持分	1,011	1,056
純資産合計	60,863	61,924
負債純資産合計	81,946	81,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	14,938	16,575
売上原価	7,761	8,182
売上総利益	7,176	8,393
販売費及び一般管理費	4,623	4,879
営業利益	2,553	3,514
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	2	2
受取地代家賃	32	22
負ののれん償却額	16	16
為替差益	460	-
受取保険金及び配当金	20	24
その他	28	18
営業外収益合計	567	90
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	10	13
シンジケートローン手数料	18	24
為替差損	-	34
その他	16	12
営業外費用合計	48	85
経常利益	3,072	3,518
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除売却損	4	7
投資有価証券評価損	164	-
代理店契約解約損	18	-
特別損失合計	187	7
税金等調整前四半期純利益	2,885	3,511
法人税等	1,061	1,111
少数株主損益調整前四半期純利益	1,824	2,399
少数株主利益	85	63
四半期純利益	1,739	2,336

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,824	2,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,288	△640
繰延ヘッジ損益	△1	30
為替換算調整勘定	589	△296
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	1,877	△905
四半期包括利益	3,701	1,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,579	1,448
少数株主に係る四半期包括利益	122	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	14,252	686	14,938	—	14,938
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	6	14	△14	—
計	14,261	692	14,953	△14	14,938
セグメント利益	2,519	28	2,548	5	2,553

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	15,874	700	16,575	—	16,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	3	10	△10	—
計	15,881	704	16,586	△10	16,575
セグメント利益	3,487	12	3,500	13	3,514

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。